



2020年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年12月9日

上場会社名 株式会社 アルトナー
 コード番号 2163 URL <https://www.artner.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 相三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 張替 朋則

TEL 06-6445-7551

四半期報告書提出予定日 2019年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第3四半期の業績(2019年2月1日～2019年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第3四半期	5,173	9.5	698	15.5	705	15.1	487	15.8
2019年1月期第3四半期	4,723	10.0	605	21.5	613	21.1	421	20.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第3四半期	45.92	
2019年1月期第3四半期	39.64	

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第3四半期	3,691	2,603	70.5
2019年1月期	3,264	2,333	71.5

(参考) 自己資本 2020年1月期第3四半期 2,603百万円 2019年1月期 2,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期		7.50		10.50	18.00
2020年1月期		10.00			
2020年1月期(予想)				9.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年1月期の期末配当の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円50銭

3. 2020年1月期の業績予想(2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,844	8.1	870	10.9	874	10.1	604	11.7	56.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期3Q	10,627,920 株	2019年1月期	10,627,920 株
期末自己株式数	2020年1月期3Q	2,329 株	2019年1月期	2,329 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期3Q	10,625,591 株	2019年1月期3Q	10,625,623 株

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D netで同日開示するとともに、当社ホームページ(<https://www.artner.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復を続けております。先行きについては、引き続き、緩やかな成長を見込んでおりますが、米中貿易摩擦、日韓関係、英国のEU離脱の行方等の国際情勢の不安定要素を注視する必要があります。

当社の主要顧客においては、電気自動車、ハイブリッド車等のエコカー関連、自動車の運転支援技術関連等の技術者要請が堅調に推移いたしました。また、ソフトウェア技術者の積極的な採用に伴い、その配属先となる顧客開拓を強化し、情報通信分野での技術者要請も伸びてまいりました。

このような状況の中、当社の技術者派遣事業においては、技術者数が前年同期を上回ったこと、稼働率が高水準で推移したことに加え、2019年4月入社の新卒技術者を当初の予定より前倒しで配属できたことにより、稼働人員が前年同期を上回りました。また、顧客企業との単価改定が順調に推移したことにより、技術者単価は前年同期を上回りました。労働工数は5月の長期連休の影響、働き方改革の影響により減少傾向となりました。

請負・受託事業においては、積極的な営業展開により、受注プロジェクト数が増加いたしました。

先行投資として、従業員の待遇改善、採用強化のための求人費の増加、スタッフの増員及び新卒技術者の採用人数の増加、教育・研修施設の増床運営を実施したことにより、売上原価、販売費及び一般管理費が増加いたしました。売上高の増加により吸収され、利益面は前年同期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,173,183千円（前年同期比9.5%増）、営業利益は698,786千円（前年同期比15.5%増）、経常利益は705,978千円（前年同期比15.1%増）、四半期純利益は487,901千円（前年同期比15.8%増）となりました。また、営業利益率は13.5%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ427,364千円増加し、3,691,553千円となりました。これは主に、売上債権の増加209,251千円、現金及び預金の増加152,579千円があったことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ157,417千円増加し、1,088,299千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加121,094千円、退職給付引当金の増加57,488千円があったことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ269,946千円増加し、2,603,253千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加270,077千円があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ152,579千円増加し、2,203,512千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、407,683千円（前年同期比2,011千円減）となりました。これは主に、法人税等の支払額304,346千円、売上債権の増加額209,251千円があったものの、税引前四半期純利益705,978千円、賞与引当金の増加額121,094千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、40,266千円（前年同期比15,010千円減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15,507千円、敷金及び保証金の差入による支出13,401千円、無形固定資産の取得による支出11,462千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、214,837千円（前年同期比46,413千円増）となりました。これは、配当金の支払額214,837千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,050,932	2,203,512
受取手形及び売掛金	764,636	973,887
仕掛品	1,786	3,697
原材料及び貯蔵品	3,036	2,476
その他	41,632	37,014
貸倒引当金	△4,500	△5,800
流動資産合計	2,857,524	3,214,788
固定資産		
有形固定資産	94,726	97,737
無形固定資産	65,102	61,793
投資その他の資産		
敷金及び保証金	69,897	82,965
その他	176,938	234,268
投資その他の資産合計	246,835	317,233
固定資産合計	406,664	476,764
資産合計	3,264,188	3,691,553
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	174,875	141,664
賞与引当金	112,921	234,015
その他	312,459	324,505
流動負債合計	600,255	700,184
固定負債		
退職給付引当金	330,626	388,115
固定負債合計	330,626	388,115
負債合計	930,881	1,088,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,284	238,284
資本剰余金	168,323	168,323
利益剰余金	1,923,258	2,193,335
自己株式	△698	△698
株主資本合計	2,329,167	2,599,244
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,139	4,008
評価・換算差額等合計	4,139	4,008
純資産合計	2,333,306	2,603,253
負債純資産合計	3,264,188	3,691,553

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年2月1日 至 2018年10月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年2月1日 至 2019年10月31日）
売上高	4,723,337	5,173,183
売上原価	2,983,571	3,232,712
売上総利益	1,739,766	1,940,471
販売費及び一般管理費	1,134,704	1,241,685
営業利益	605,062	698,786
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	164	174
受取手数料	375	411
研修教材料	786	839
保険配当金	4,573	4,445
助成金収入	891	1,762
その他	1,340	1,316
営業外収益合計	8,136	8,954
営業外費用		
支払利息	36	—
解約違約金	58	1,761
その他	—	0
営業外費用合計	94	1,761
経常利益	613,104	705,978
特別損失		
固定資産除却損	773	—
特別損失合計	773	—
税引前四半期純利益	612,330	705,978
法人税、住民税及び事業税	268,684	274,347
法人税等調整額	△77,562	△56,270
法人税等合計	191,122	218,076
四半期純利益	421,208	487,901

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年2月1日 至 2018年10月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年2月1日 至 2019年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	612,330	705,978
減価償却費	11,454	19,969
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,200	1,300
賞与引当金の増減額（△は減少）	157,173	121,094
退職給付引当金の増減額（△は減少）	60,832	57,488
受取利息及び受取配当金	△168	△179
支払利息	36	—
未収入金の増減額（△は増加）	6,456	△52
売上債権の増減額（△は増加）	△202,239	△209,251
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5,303	△1,351
未払消費税等の増減額（△は減少）	△7,964	13,572
未払金の増減額（△は減少）	△27,498	△50,961
その他	60,864	54,242
小計	667,174	711,850
利息及び配当金の受取額	168	179
利息の支払額	△36	—
法人税等の支払額	△257,611	△304,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,694	407,683
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,875	△15,507
無形固定資産の取得による支出	△33,942	△11,462
敷金及び保証金の差入による支出	△17,677	△13,401
敷金及び保証金の回収による収入	239	334
投資有価証券の取得による支出	—	△208
その他	△19	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,276	△40,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△195	—
配当金の支払額	△168,228	△214,837
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168,423	△214,837
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	185,994	152,579
現金及び現金同等物の期首残高	1,683,375	2,050,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,869,370	2,203,512

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。